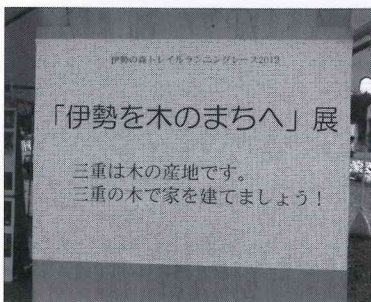




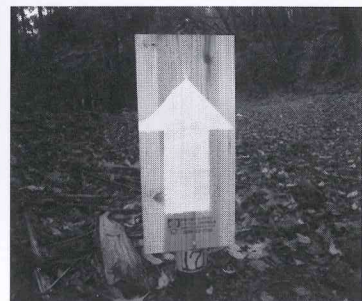
パネル展示で林業や森林の機能をアピール



伊勢市まちづくり市民会議の産業分科会



みえ木造塾による建築施工例のPR



コース上に設置された標識は、平成24年10月13日（土）伊勢市内で行われた「みえ森林フェスタ2012」の来場者の方々が作成

もっと林業を知ってもらいたい

三重県伊勢市が取組んでいる「伊勢市まちづくり市民会議」の分科会に、いせしま森林組合が参画する産業分科会があります。その産業分科会では、平成23年度のテーマとして「林業」が取り上げられ、「伊勢の林業を活性化したい」との「思い」を実現するための検討が行われてきました。

しかし、会議や作業現場の見学会などでの検討を進めていく中で、森林組合職員が感じたのは「自分達が思っている以上に一般の人に林業が知られていない」ということでした。

分科会では、こういった森林組合職員の感想や他の委員の意見も交え、「まずは林業を知ってもらおう。そのためには、山に足を運んでもらい、実際の作業を見てもらう。そのことが林業活性化への第一歩になるのではないか」との方向性が確認されました。

そこで、より多くの人に山へ足を運んでいた、林業を知ってもらうための手段として、トレイルランニングレースの招致と、会場での造材作業の実演を盛り込んだイベント案が検討され、一年を超える準備期間を経て、平成24年12

月16日（日）、「伊勢の森 トレイルランニングレース 2012 20km」が開催されることとなりました。

大会当日、ゴール会場では、森林の機能や木造建築物をPRするパネル展示を、（社）三重県建築士会みえ木造塾と共同で出展。来場者の中には足を止めてパネルに見入る姿も見られました。

また、林業実演コーナーでは、ノコギリやヨキからチェーンソー、そしてハーベスタへと、造材作業の移り変わりを、それぞれの機具を使って実演が行われました。特に、ハーベスタによる実演では、歓声や驚きの声が上がると、大勢の見学者の注目を集めていました。

林業とは関係のない人が集まるこのレースで、「林業に対して思わぬ反響があれば」と期待して行われた今回のイベント。見学者の驚嘆の声でこの取組が確かな第一歩であることを感じた一日でした。

（写真・文）三重県農林水産部森林・林業経営課

※トレイルランニング

マラソンと登山の要素を併せ持ったスポーツで、日本では山岳マラソンとも呼ばれていた。登山道や林道など、高低に関わらず、舗装されていない道を走る。